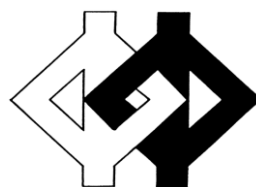


鶴岡市立鶴岡第二中学校だより

かがやき

考え・伝え・学び合う

令和7年7月28日 第9号



二中 HP QR コード

TEL 22-8322・8323

dai2-j@school.city.tsuruoka.yamagata.jp

令和7年度 1学期終業式

7月28日に1学期終業式が行われました。

校長先生より、1学期の学校生活で感じた二中学生の良さと平和学習での学びについてお話があったあと、各学年の代表生徒が1学期の振り返りと2学期に向けての抱負をお話ししました。

明日から24日間の夏季休業に入ります。暑い日が続きますので、体調を崩さないように充実した生活を送ってください。また、夏季休業中だからこそできることにも挑戦してほしいと思います。

2学期の始業式、元気な姿で会えることを楽しみにしています。



1年代表 佐藤陽哉 さん



2年代表 野坂幸有希 さん



3年代表 富樫駿太 さん

修学旅行での
学びを伝える

3 学年 平和学習発表会

7月28日（月）3学年平和学習発表会が行われました。

3学年の代表生徒（渡邊玖音さん・後藤快莉さん）が修学旅行で学んだことを全校生徒に発表しました。

現地で聞いたこととして、原爆の悲劇、原爆手帳を持った方への偏見と差別、平和への願いなど、スライドを交えながら発表しました。

折り鶴再生プロジェクトでの体験を通して、世界中から広島に集まる折り鶴が再利用され、新しい形（しおりや名刺など）で思いを紡いでいることが紹介されました。

また、原爆養護施設への入所者や被爆体験者の講話を聞き、「広島で平和を感じ、今ある平和を維持する」ことへの使命と責任を感じたことや「平和は自然にできるものではなく、みんなで創り上げるもの」という言葉が印象に残りました。発表を真剣に聞く、全校生徒の姿も立派で、思いが繋がる時間となりました。



☆裏面に校長先生の1学期終業式のお話を掲載しております。

令和7年度 1 学期終業式 佐藤大吾校長先生のお話

皆さん、今日で1学期が終わります。3名の代表生徒が話してくれたように、各学年に応じて力を入れたこと、成長したこと、そして課題をあげてくれました。まずは、それぞれの日々の頑張りをねぎらいたと思います。お疲れさまでした。

私は4月にこの学校に赴任しましたが、毎日楽しく過ごしています。それは、二中の生徒の皆さん、そして先生方が本当に魅力的で、私はそんな皆さんのことが大好きだからです。生徒の皆さんは理由がなくても昼休みじゃんけんしてくれるし、あいさつをがんばろうという呼びかけがあれば、それにすぐ応えてくれる前向きなエネルギーにあふれています。先生方は私が思い付きでしゃべったことにもすぐに協力してくれる良い先生ばかりで、校長として幸せな毎日を送っています。

さらに二中には、他の学校にはない、これからも大切にしていきたい文化がたくさんあります。その一つが「平和学習」です。今日は1学期の終わりにあたり、この平和学習についてお話ししたいと思います。

先ほど3年生が発表してくれた修学旅行に私も行きました。特に感動したのが、3年生の話を聞く姿です。語り部の方のお話を聞く時に「ただ静かにしている」のではなく、「今ここで何を学ぶべきか」を理解しているという真剣な雰囲気がありました。きっと2年生の頃から、平和学習を通じて、広島で何が起きたのか、そして太平洋戦争とはどんな戦争だったのかをしっかりと学んできたからなんだろうな、と思いました。

今年は終戦からちょうど80年の節目の年です。ニュースや新聞などでも、戦争に関する話題がたくさん取り上げられるでしょう。

中学生にとって、平和学習は特別で、かけがえのない学びです。ぜひ、夏休み中に一つでもそういった話題に触れ、自分なりに「戦争はなぜ起こるのか?」「どうしたら平和になるのか?」について考えてみてください。

きっかけはアニメや漫画でも構いません。例えば『進撃の巨人』を見たこと、読んだことがある人はいますか?この作品は、巨人と人間との戦いを描くアクションの物語に見えて、実は戦争と平和について深く考えさせてくれるテーマが込められています。物語が進むにつれて、戦争の原因が「敵だから」「違う民族だから」「過去にひどいことをされたから」など、偏見や憎しみの積み重ねであることが分かってきます。「違うことをおそれ、理解しようとするより先に、否定したり差別したりする。」——そんな考え方が戦争を引き起こすのです。

私は『進撃の巨人』から「相手を知ろうとすること」「違いを恐れず受け入れること」が、平和への第一歩だと改めて感じました。

皆さんも、平和を考えると、単に「戦争はいやだ、平和は大切だ」で終わらず、争いのきっかけとなる“違い”についてぜひ考えてみてください。

他の人の考え方、生き方、自分とは違う文化や歴史——それを知ろうとするだけで、世界の見え方が少しずつ変わってきます。

そう考えると、皆さんにとって身近な「いじめ」も、平和の問題と通じることに気がつくはずですよ。あの人は目立っている、あの人は行動が変だ、などと言って、さも自分が正しくて、目立つ人、変な人が問題だと思っている人、こういう人が無意識に人をいじめたり、戦争を認めるような雰囲気を作ったりしてしまうのです。

平和を考えることは、ニュースの世界だけでなく、あなたの日々の人間関係を大切にすることでもあるのです。

それでは、事故やケガに気をつけて、元気に夏休みを過ごしてください。
2学期の始業式で、また皆さんの元気な顔に会えるのを楽しみにしています。
みなさん健康で充実した夏休みになることを期待し、お話を終わります。

